

「2018 年度予算・制度に関する提案書」の提出について

当会では、5月26日（金）に厚生労働省の定塚社会・援護局長に鎌倉会長が提案書を手渡すとともに、意見交換を行いました。当会からは、鎌倉会長をはじめ、松山副会長、愛沢副会長及び事務局職員が出席しました。

また、同日、障害保健福祉部の内山障害福祉課長にも提案書をお渡ししました。

その後、6月1日には、老健局と雇用均等・児童家庭局にも提案書を持参するとともに、文部科学省や最高裁判所など該当省庁に提案書を送付しました。

当会では、今まで必要に応じて単発での声明や要望を発出してきましたが、このような体系的な提案活動は今回が初めての試みです。提案の取りまとめに当たっては、各理事や各委員会の委員が原案を作成し、それらを元に理事会等で検討いたしました。

来年度以降もこのような取組を継続すべきと考えますが、提案内容の募集や取りまとめの時期・方法等について、今後検討したいと思います。